

No.	010	—	1008	事務事業名	地区組織活動支援事業										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp				
	事業区分	補助金・負担金・支援			事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度 ～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標 1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実					
	事業の目的	健康づくりに関する正しい知識を身につけるとともに、地域にその輪を広げ、地域ぐるみの健康づくりを進めるため。						根拠法令等	健康増進法						
	事業の手段	どうおん健康づくりの会及び東温市食生活改善推進員の活動を支援します。						掲載計画	東温市健康増進計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標		
		どうおん健康づくりの会活動参加者数		どうおん健康づくりの会の三役会、役員会、総会、研修会、ウォーキング大会の参加延べ人数				人	目標	200	200	250	250		
									実績	224	228				
		東温市食生活改善推進員の活動参加者数		食生活改善地区講習会、食生活改善推進員研修会参加延べ人数				人	目標	200	250	250	250		
									実績	204	262				
D O C U M E N T	活動内容	①	どうおん健康づくりの会ウォーキング大会開催支援					④							
		②	食生活改善地区講習会開催支援					⑤							
		③	食生活改善推進員研修会の開催												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費			
	直接事業費		令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		4款衛生費 1項保健衛生費 3目健康増進事業費 001健康教育事業のうち、地区組織活動支援事業に係る費用						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	284 千円		284 千円		278 千円								
		計(A)	284 千円		284 千円		278 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.162 人	1,029 千円	0.207 人	1,307 千円	0.207 人	1,307 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		1,313 千円		1,591 千円		1,585 千円									
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	成人保健係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	市民の主体的な健康づくりに関する活動を支援することで、市全体の健康づくりの機運を高めることにつながるため、市が実施する必要性が高い事業です。 ただし、会員数の増加や活動内容の充実など改善の余地があります。													
	有効性	活動内容が施策の実現に貢献するものであり、活動を支援することは有効です。													
	達成度	活動内容については、一定の成果を上げており、概ね目標を達成しています。													
	効率性	必要に応じて外部講師や大学等、関係機関の協力も得ながら実施しており、今後も会員数の増加や活動内容の充実に向けて、手段、方法等創意工夫しながら活動支援を継続していく必要があります。													
	当面の課題	会員の高齢化、会員数の減少により、役員のなり手不足や活動内容が限られるなどの課題があり、活動の意義の再確認や魅力ある活動の創出などを行うことが求められています。													
	改 革 計 画	現会員が意欲ややりがいを持って楽しく活動できるよう支援し、その様子を広報していきます。研修会等の機会を活用して活動の意義を再確認し、魅力ある新たな活動について継続して協議していきます。													
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	コロナ禍などの影響により減少傾向にある会員について、会の役員と連携を密にして、新たな活動を創出するとともに、積極的な周知活動を行うようにしてください。													

No.	010	—	1009	事務事業名	健康教育事業										公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	健康推進課		係 名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	3 成人保健の推進					
	事業の目的	壮年期からの健康づくりに関する正しい知識の普及を図り、住民の健康増進を図るため。					根拠法令等	健康増進法						
	事業の手段	脳卒中や心臓病等の生活習慣病発症予防及び重症化予防、高齢者のフレイル予防等に関する内容の健康教室、健康相談、訪問指導等を行います。					掲載計画	東温市健康増進計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
		健康教室及び健康相談の参加人数		健康教室及び健康相談の参加延べ人数		人		目標 2,000 実績 2,075	2,800 2,440	3,000	3,000			
		訪問による保健指導延べ人数		訪問指導実施延べ人数		人		目標 100 実績 124	100 64	100	100			
		健康状態不明者実態把握人数		対象者のうち実態把握できた人の割合		%		目標 — 実績 —	100 100	100	100			
DO	活動内容	①	一般健康教育(いきいき健康講座)、病態別健康教育(糖尿病予防教室等)					④	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における健康状態不明者の実態把握					
		②	健診後指導(診察相談)					⑤						
		③	訪問による保健指導											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備 考					
		国・県支出金	250 千円		345 千円		340 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	6,997 千円		7,139 千円		6,914 千円							
		一般財源	4,524 千円		4,312 千円		4,230 千円							
		計(A)	11,771 千円		11,796 千円		11,484 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	1.381 人	8,771 千円	1.680 人	10,606 千円	1.680 人	10,606 千円							
	臨時職員工数・経費	1.149 人	2,423 千円	0.901 人	1,886 千円	0.901 人	1,886 千円							
全体事業費(A+B)		22,965 千円		24,288 千円		23,976 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	成人保健係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	健診結果に基づく保健指導や訪問、健康状態不明者の実態把握等は、個別性が高く、公平性・公正性が求められるため、市が実施する必要性が高い事業です。												
	有効性	健診結果に基づく保健指導や訪問、健康状態不明者の実態把握等、公平性・公正性が求められる事業については適切に実施できています。一般健康教育や運動指導は、類似事業があるため、対象・目的等を整理する必要があります。												
	達成度	新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数の減少がみられましたが、徐々に戻ってきています。今後も対象に応じた効果的な周知や、計画的な訪問活動などの実施が必要です。												
	効率性	健康課題や対象の特徴に応じて、民間のノウハウの活用や、指導内容の工夫など、効果が上がる手段を継続的に検討していく必要があります。												
	当面の課題	一般健康教育では、一次予防として広く知識を普及するには参加者が少なく、固定化しているという課題があり、病態別健康教育では、参加者の行動変容には繋がっていますが、投入するマンパワーを考えるとあまり効率的ではないという課題があるため、市の健康課題に応じたテーマ設定や、興味を引く教育媒体の活用が求められています。また、運動指導は、高齢者については介護予防事業等、類似事業があるため、対象者や内容の整理をしていく必要があります。												
	改 革 計 画	令和6年度から市の健康課題の一つである心疾患予防に関する内容の教室と合わせて、個人の健康づくりの取組に応じた特典付与を行う「特典付き健康づくり教室」を実施します。運動指導事業については、対象者や内容の整理に向けて、関係先と継続的に協議していきます。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	市の課題を洗い出し、限られた予算で最大の効果を得られるよう検討してください。 また、類似事業を整理し、新たな事業を開始することで、ニーズを掘り起こすよう努めてください。												

No.	010	—	2010	事務事業名	各種予防接種事業										公的関与	1
P L A N	課 名	健康推進課		係 名	母子保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp					
	事業区分	經常的事務事業			事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	5 難病・感染症対策の推進					
	事業の目的	定期予防接種の接種率を95%にし、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するため。						根拠法令等	予防接種法							
	事業の手段	予防接種に関する周知・啓発に努めます。また、医療機関等と連携し、安全で効果的・効率的な体制整備を行います。						掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
		結核(BCG)の接種率		全接種者数/全対象者数				%		目標 100	100	100	100			
										実績 98	98					
		麻しん風しん(1期)の接種率		全接種者数/全対象者数				%		目標 95	95	95	100			
										実績 101	84					
麻しん風しん(2期)の接種率		全接種者数/全対象者数				%		目標 95	95	95	100					
								実績 97	102							
D O	活動内容	①	予防接種の目的・方法・効果等についての個別通知					④								
		②	愛媛県予防接種広域化協議会に参加し、接種体制を維持					⑤								
		③	未接種者を把握し、対象年齢内に接種するよう接種勧奨を実施													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費				
	直接事業費		令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備 考							
		国・県支出金	1,901 千円		287 千円		264 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	94,364 千円		96,272 千円		106,983 千円									
		計(A)	96,265 千円		96,559 千円		107,247 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	2.410 人	15,306 千円	2.400 人	15,151 千円	2.429 人	15,334 千円									
	臨時職員工数・経費	0.720 人	1,518 千円	0.700 人	1,465 千円	0.710 人	1,486 千円									
	全体事業費(A+B)	113,089 千円		113,175 千円		124,067 千円										
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	母子保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	定期予防接種は予防接種法で実施することが定められています。接種機会を安定的に確保し、一定の接種率を確保することが重要です。														
	有効性	愛媛県予防接種広域化協議会のもと、県内広域で契約をしているため、県内医療機関にて個別接種が実施できています。対象者にとっては、接種しやすい環境を確保できています。														
	達成度	医療機関及び保育所等関係機関と連携を図り、ワクチンの有効性と副反応等の情報提供、接種勧奨に努め、各予防接種の接種率を維持できています。														
	効率性	愛媛県予防接種広域化協議会にて前年度に調査をし、翌年度の委託料を決定します。県内広域で契約し、接種できることは効率的です。														
	当面の課題	接種率を確認して接種勧奨を行っており、引き続き、勧奨は行いますが、併せて予防接種に伴う健康被害(副反応)に関わる情報提供も行います。														
	改 革 計 画	個別の案内通知や広報等により、適切な情報提供の周知を行います。														
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持		
	二次評価での指摘事項		接種機会については、有効的かつ効率的な体制を敷いており、接種率の向上のために積極的な情報提供に努めてください。													

No.	010	—	4001	事務事業名	危機管理関係事業										公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

PLAN	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度 ～ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	1 総合的な防災・減災対策の充実					
	事業の目的	市民の生命・身体等を保護し、安全・安心に暮らすことのできる居住環境づくりを目指すため。					根拠法令等							
	事業の手段	各種訓練・研修に計画的に参加するとともに、伝達研修や災害時の自宅避難者への健康調査の手順についてグループワークを行い、災害時保健衛生活動マニュアルを作成・推進します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
		マニュアル作成等業務		グループワークの回数		回		目標	2	2	2	2		
								実績	2	2				
		高病原性鳥インフルエンザ発生時の健康調査		実施回数		回		目標	1	1	1	1		
								実績	1	1				
DO	活動内容	①	マニュアル作成等業務					④	能登半島地震被災地支援活動					
		②	調査・報告					⑤						
		③	高病原性鳥インフルエンザ発生時の健康調査											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		計(A)	0 千円		0 千円		0 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.035 人	222 千円	0.101 人	638 千円	0.101 人	638 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		222 千円		638 千円		638 千円							
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	近年は、災害が激甚化、頻発化しており、市が実施主体となって行うべき課題です。災害時に対応できるようマニュアルの作成のほか、人材育成も必要です。												
	有効性	類似施策はなく、地域防災計画と整合性を踏まえた事業の実施は不可欠です。												
	達成度	災害時の保健衛生活動について、グループワークを行い、検討を進めていますが、医療の確保に関する事項については、更に内容を深める必要があります。												
	効率性	既存の訓練・研修に計画的に参加し、伝達研修・グループワークを実施していますが、費用は発生していません。実施方法については、見直す余地があります。												
	当面の課題	災害時の保健衛生活動について、より具体的に動けるようにマニュアル等の整備をすすめるとともに、人材育成が必要です。												
	改 革 画	災害時の医療救護について、市地域防災計画、愛媛県マニュアル等を参考に、本市版マニュアルを検討します。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		頻発する災害に備えて、災害時保健衛生活動マニュアルの作成のため、効率的な業務の遂行に努めてください。												

No.	010	—	4008	事務事業名	保健センター管理費										公的関与	2
PLAN	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当		事業期間	年度 ～ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標 1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策		1 地域保健・地域医療体制の充実							
	事業の目的	市民の健康づくりの拠点として、保健・福祉関連事業を実施するため。					根拠法令等									
	事業の手段	総合保健福祉センター及び川内健康センターの適切な維持管理に努めます。					掲載計画									
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
		事故件数		会議室等の使用不能事故		件	目標	0	0	0	0					
							実績	0	0							
							目標									
							実績									
					目標											
					実績											
DO	活動内容	①	施設の維持管理事務（設備保守委託、清掃委託、植木剪定委託 等）				④									
		②	施設の修繕業務				⑤									
		③	施設利用の予約管理													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費				
	直接事業費		令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備 考										
		国・県支出金	0 千円		0 千円	0 千円		毎年度、社会福祉協議会から総合保健福祉センター使用料を地価や占有面積から積算し、徴収しています。そのため、コスト面で有利に運営を行うことができています。								
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円										
		その他特定財源	3,191 千円		3,132 千円	3,083 千円										
		一般財源	22,115 千円		23,309 千円	22,110 千円										
	計（A）	25,306 千円		26,441 千円	25,193 千円											
人件費（B）	正職員工数・経費	0.855 人	5,430 千円	0.850 人	5,366 千円	0.850 人	5,366 千円									
	臨時職員工数・経費	0.073 人	154 千円	0.068 人	142 千円	0.068 人	142 千円									
全体事業費（A＋B）		30,890 千円		31,949 千円		30,701 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）														
	必要性	総合保健福祉センター及び川内健康センターは、市の保健福祉事業拠点に位置付けられており、多くの住民に利用されています。														
	有効性	例年実施している施設の維持管理や修繕は、施設を適切に維持するうえで、最低限必要な業務であり、継続して行う必要があります。														
	達成度	衛生管理、設備保守を適切に行い、施設が使用できない日は発生していません。														
	効率性	適正なコスト管理ができています。委託業務を複数の施設でまとめたり、長期継続契約を締結するなど、効率的に契約することで、委託料の削減を図ることができます。														
	当面の課題	総合保健福祉センター敷地内の駐車スペースが狭いため、敷地内だけでの駐車スペースでは足りない場合があります。														
	改 革 計 画	財政課管財係や社協等の関係団体と調整しながら、西側職員駐車場のスペースを臨時駐車場として確保し、センター利用者の利便性を確保します。														
	二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項		適切な保守管理により、安全で快適な利用空間を維持しながら、使用するよう努めてください。 また、駐車場の不足については、事前に他施設と協議を行い場所を確保するとともに、来場者への事前周知に努めてください。													

No.	010	—	4010	事務事業名	救急医療対策事業										公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当		事業期間	年度		～	期間設定なし
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実					
	事業の目的	休日・夜間に救急医療を利用できる体制を維持するため。						根拠法令等						
	事業の手段	東温市の在宅当番医制事業及び松山医療圏の救急医療体制の適切な運営を支援します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
		東温市医師会との協議への出席	出席回数		回	目標	1	1	1	1				
						実績	1	1						
		松山医療圏救急医療市町連絡会への出席	出席回数		回	目標	1	1	1	1				
						実績	1	1						
休日・夜間に救急医療を利用できる日数		利用日数		日	目標	71	72	72	72					
	実績				71	72								
D O C U M E N T	活動内容	①	東温市医師会との協議への出席				④							
		②	松山医療圏救急医療市町連絡会への出席				⑤							
		③	松山医療圏の救急医療体制に係る負担金の支払											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備 考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	22,481 千円	19,085 千円	22,474 千円									
		計 (A)	22,481 千円	19,085 千円	22,474 千円									
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.030 人	191 千円	0.086 人	543 千円	0.086 人	543 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費 (A + B)		22,672 千円		19,628 千円		23,017 千円								
C H E C K - A C T I O N	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	休日・夜間の救急医療体制を確保するためには、現状の体制を維持するための支援が必要です。												
	有効性	市民が必要な医療を受け、提供する医療機関が適切に運営されるためには現状の体制が有効です。												
	達成度	必要な救急医療体制は確保できています。												
	効率性	医療機関に委託等をする方法が、現状では最も効率的な手法です。												
	当面の課題	医師会等の協力により、救急体制が維持できていますが、余力はあまりなく松山圏域で運営している小児の救急体制も医師不足により危機的状況です。												
	改 革 計 画	体制維持のため、医師会等と連携して行政として果たす役割を検討し、当面は、救急医療の適正利用について母子保健事業等の機会を通じて市民に啓発していきます。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	現行の救急医療体制を維持するために、関係機関と連携し情報収集に努めるとともに、救急医療の適正利用について、広報周知を図ってください。												